

マイクロホンアレイに基づく音響信号処理とその実用化

戸上 真人^{1,a)} 川口 洋平^{2,b)}

概要: 本発表では、発表者らがこれまで、対話型ロボットの雑音環境下での音声認識率向上、テレビ会議システムなどの音声通話装置の通話品質向上を目的に開発を進めてきたマイクロホンアレイに基づく音響信号処理技術に関して 10 年来の取り組みについて紹介するとともに、実用化に向けた取り組みについて、企業における研究開発特有の実用化に向けた泥臭い活動含めて紹介する。また、確率モデルなどのモデルベースの信号処理は、「音声」の処理にとどまらず、機械音などの音声以外の音の処理、もしくは質量分析装置といった音を離れた分野においても適用可能な要素技術であると考えている。これらの横展開の事例についても可能な限り紹介する。

Acoustic signal processing with microphone array and its implementation

¹ LINE 株式会社
JR SHINJUKU MIRAINA TOWER 23rd FL., 4-1-6 Shinjuku, Shinjuku-ku, Tokyo 160-0022, Japan

² (株) 日立製作所
1-280, Higashi-Koigakubo, Kokubunji-shi, Tokyo 185-8601, Japan

a) masahito.togami@linecorp.com

b) yohei.kawaguchi.xk@hitachi.com